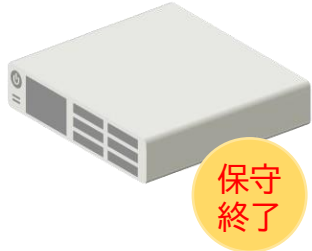


老朽化したシステムの保守切れ 対策ガイドブック



FANATIC®

老朽化したシステムで問題となるハードウェアの保守切れ



「ハードの保守が切れるので、
システムの更新が必要です」

システムの保守が切れるとシステムの更新は仕方がないと捉えている
方は大変多くおられます。

しかしそのいっぽうで、

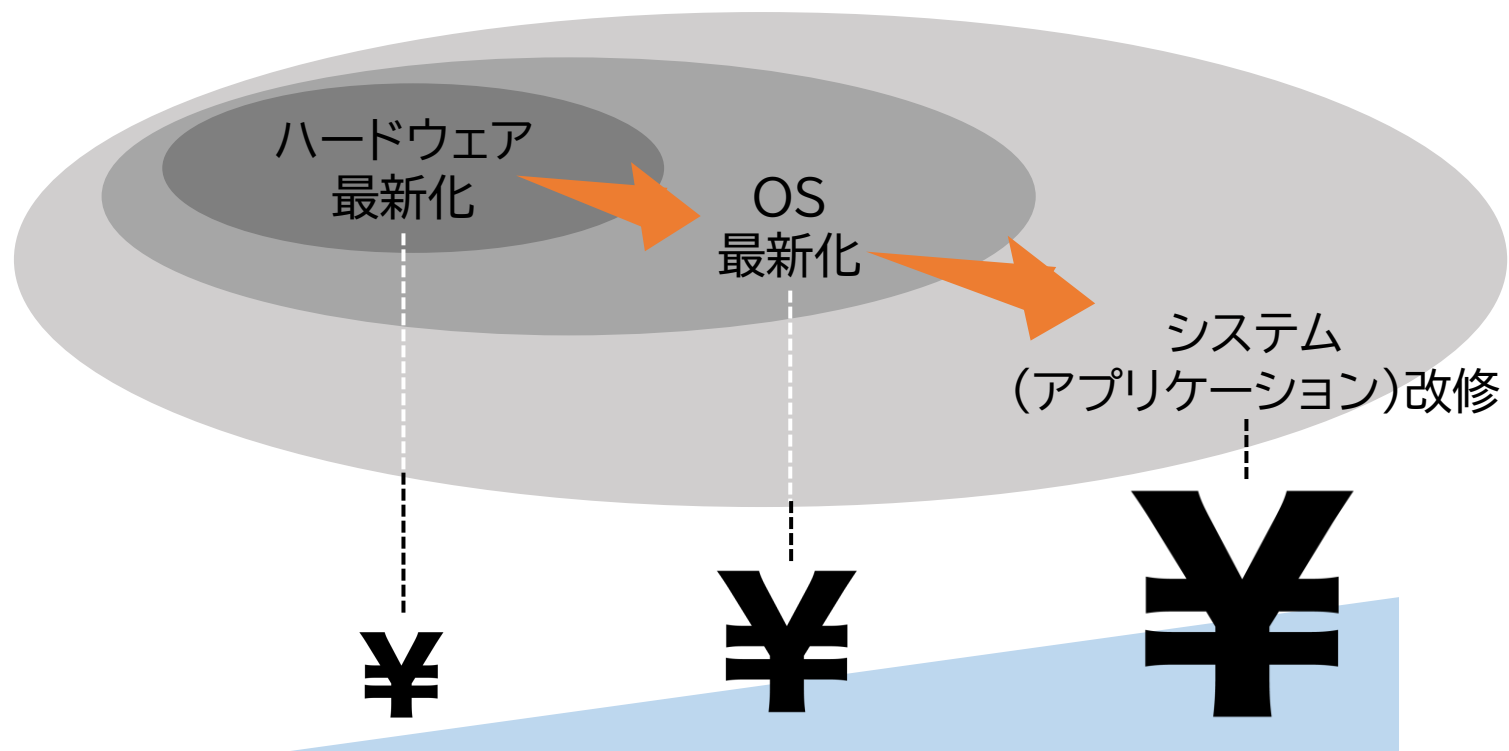
- ✓ 見積額が想像以上に高額
- ✓ 更新プロジェクトを担当する人員がいない
- ✓ 新システムの標準機能では業務に合わない

といった声もあります。

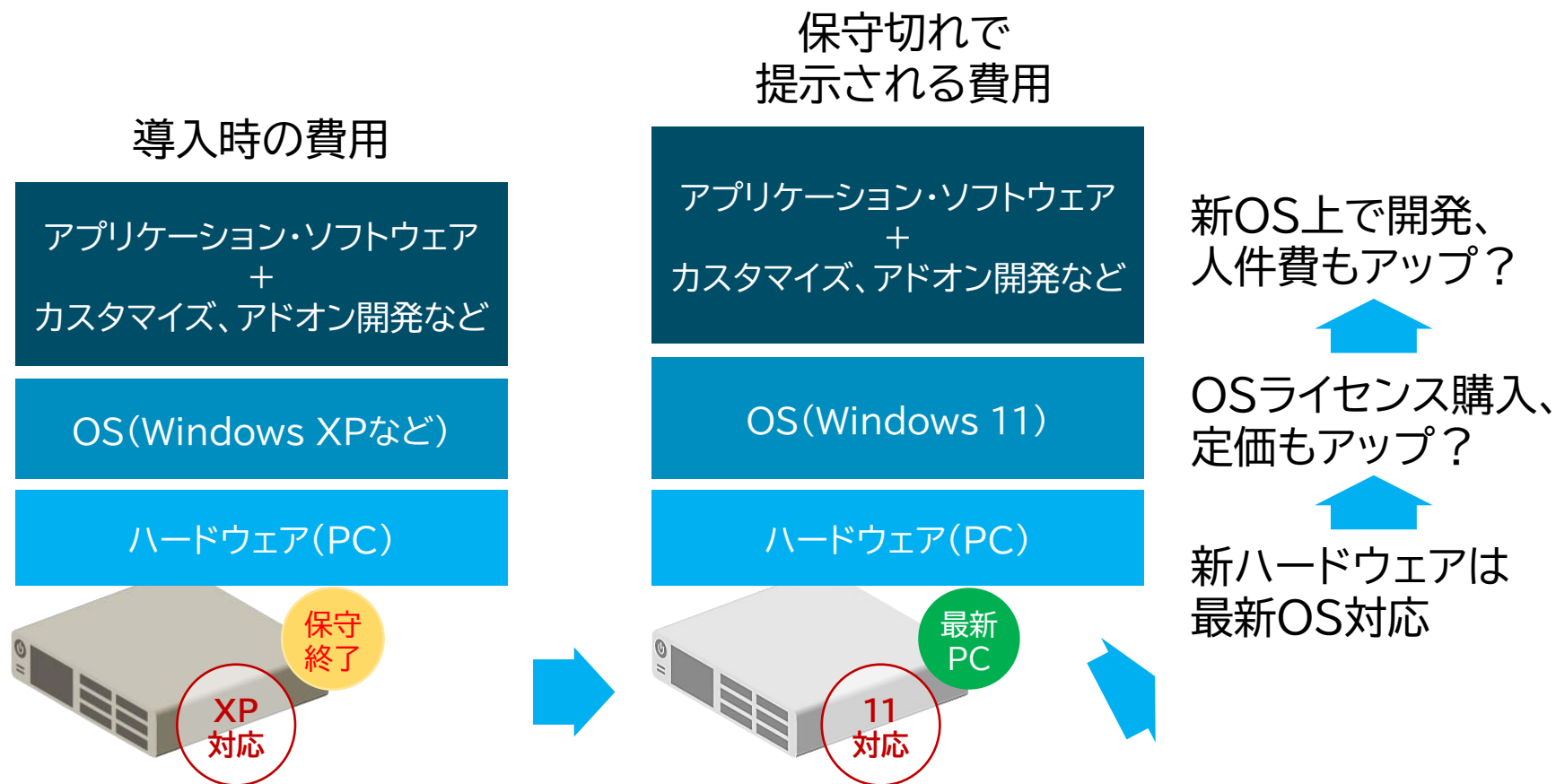
本資料では、なぜこのような声があるのかを解説するとともに、解決
の方向性をご紹介します。ぜひご一読ください。

ハードウェア最新化がシステムに及ぼす影響

ハードウェアの最新化を検討すると、OSの最新化とシステム(アプリケーション)の改修が必要とされるため、影響範囲が広がり費用が高額になることが問題となります。



ハードウェア最新化の費用が高額になる理由



ハードウェア(PC)を最新化すると、
導入時と同等もしくは導入時よりも高額になることも

システム更新のプロジェクトを推進するには人員が必要

システムを更新するにはIT担当者をアサインする必要がありますが、担当者のリソースを割くのが難しいといった声をよく耳にします。また業務部門と連携しながら進めていくためには双方の時間を費やす必要もあります。



- ・新規システムの企画開発
- ・現場の運用サポート
- ・トラブルや不具合対応

- ・現場担当者へのヒアリング
- ・説明資料作成や打ち合わせ



標準機能では業務にあわないのでカスタマイズが必要

新しいソフトウェアへの単純な更新が望ましいが、現システム構築時に追加した機能を同様にカスタマイズで追加しなければ、業務効率が低下してしまうことが懸念されます。

- ・従来の1画面の情報が複数の画面にまたがってしまう
- ・仕入や販売、入在庫管理などの業務がこれまで通りにできない
- ・周辺システムとの連携が困難になる

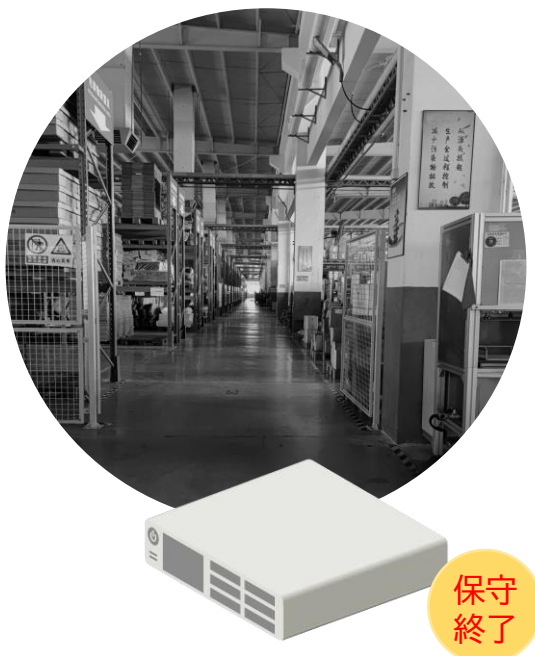


ハードウェアの保守はあらゆるシステムで必要

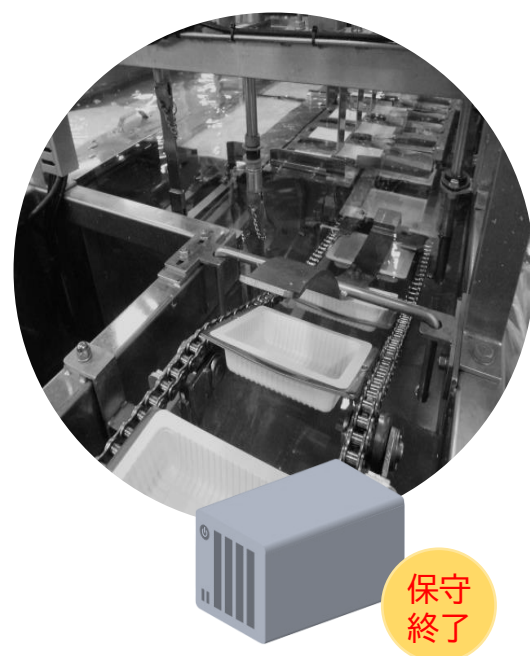
基幹システムの
サーバー



装置・設備用の
PC

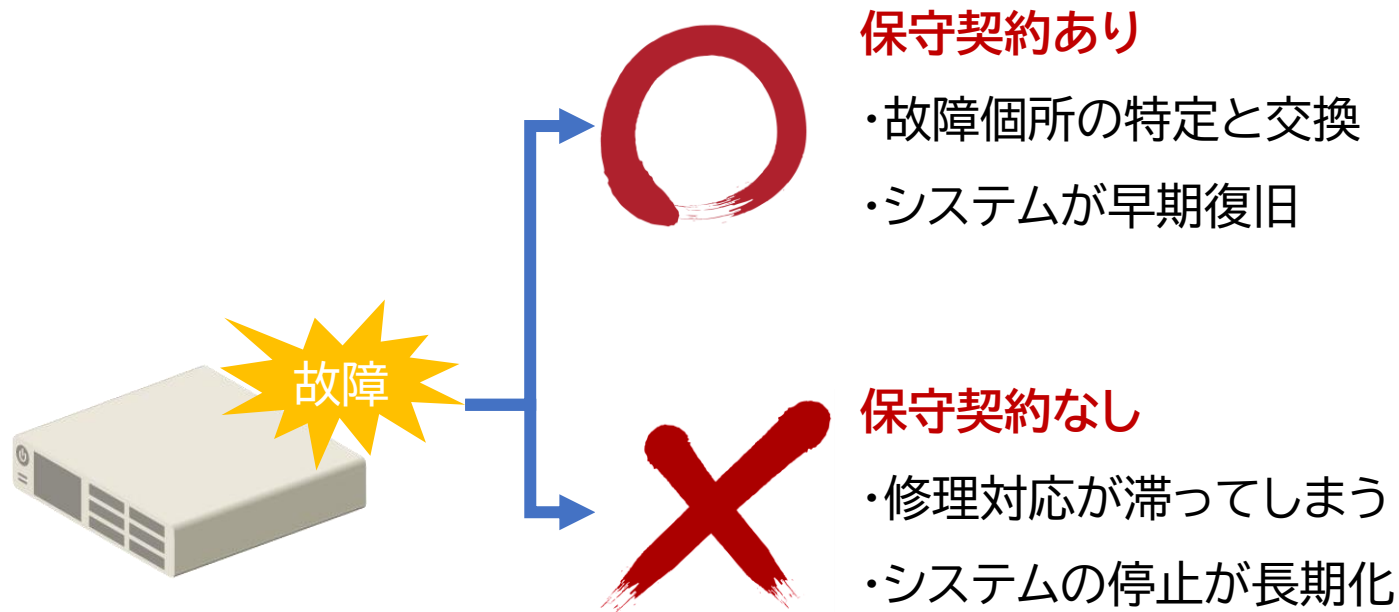


生産・製造ラインの
PC



老朽化したシステムでは、
ハードウェア・メーカーによる保守サービスが満了を迎えると
システムの更新が必要となります。

ハードウェア故障は重大な業務リスク



保守契約が終了してしまうと、
業務継続における重大なリスクを抱え込むことに。



ハードウェア保守切れで懸念されるのは

保守切れのハードウェアを使い続けることの課題は主に3つあります。
いずれもメーカーの保守が無いと障害や故障に対応できないため、
システム停止の長期化が懸念されます。



①メーカーのサポート
が受けられない



②交換パーツが入手できない



とくに「②交換パーツが入手できない」
はハードウェアの故障に対処することは
不可能といえます。

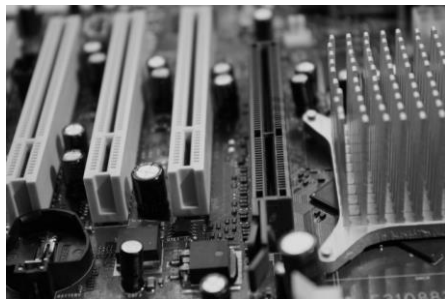


③不具合に対処できない

物理的に避けられないハードウェアの劣化

例えば、PCの最重要部品であるマザーボードのコンデンサ(※)の寿命は約5年とされており、駆動部品が使われるHDDの場合、一般的な保証期間がエンタープライズ向けで5年間、デスクトップ用では3年間とされていることから、**5年を過ぎたハードウェアは劣化が進んだ状態**であるといえます。

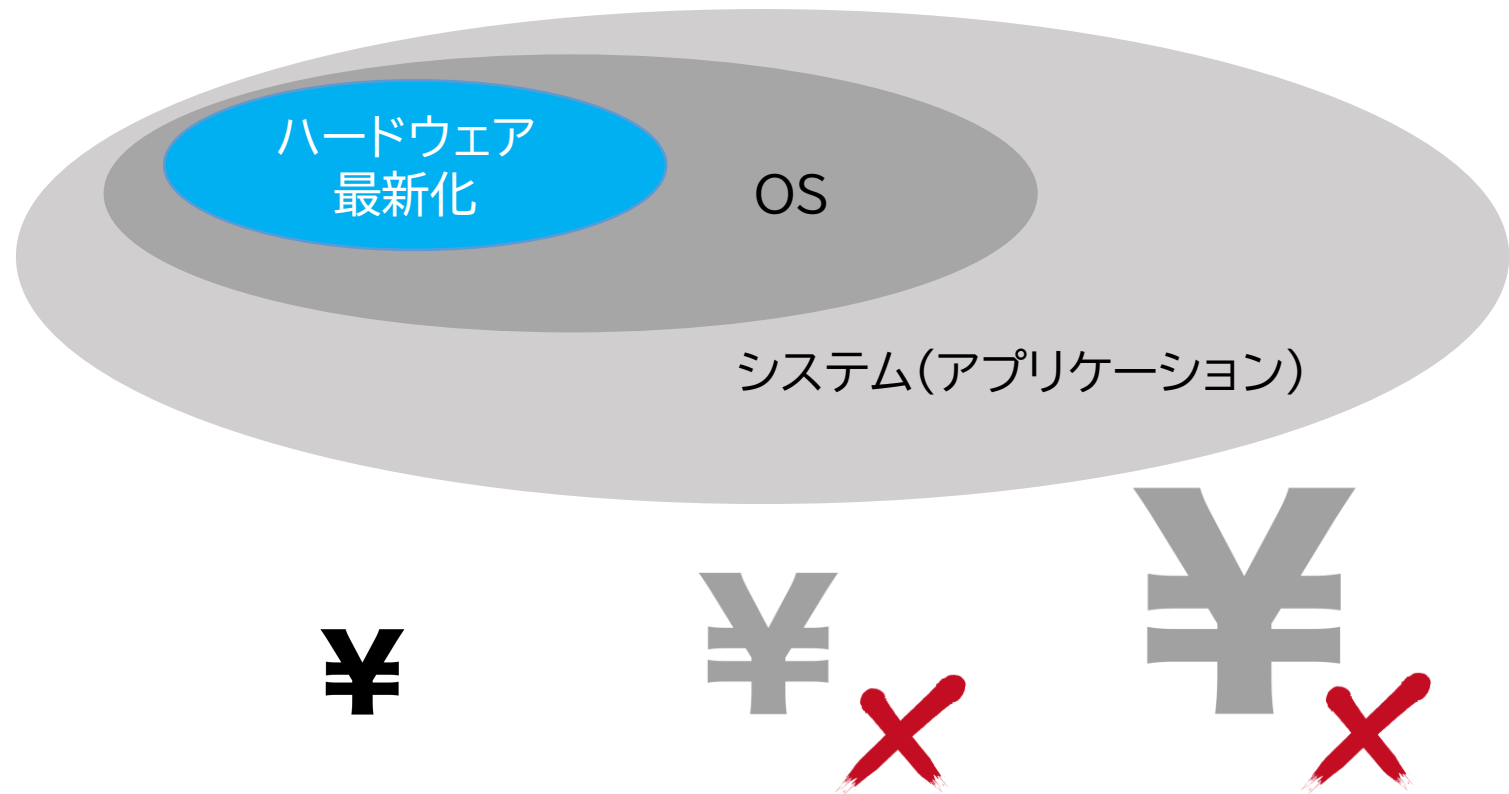
※コンデンサ:電気の流れを一定に保ち安定化させる役割を担うパーツ



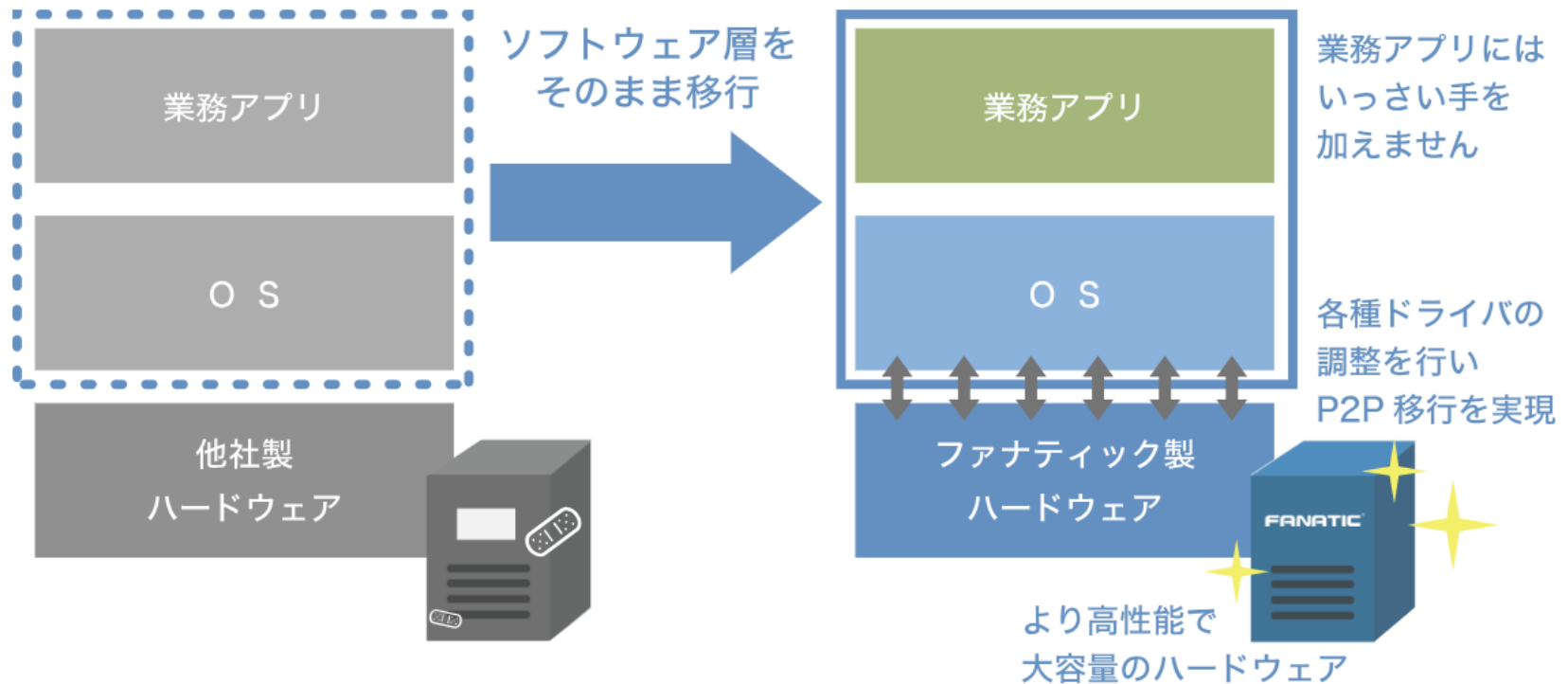
保守が切れたハードウェアは物理的な劣化が進んでいるため、できれば**ハードウェアを最新化**することが望ましい。

更新範囲を絞り込めば費用、影響ともに最小限に

OSやシステム(アプリケーション)に影響することなくハードウェアを最新化できれば、更新範囲を最小限に抑えられ費用も抑制することができます。



ハードウェア・メーカーだからできる入れ替えサービス



Windows XP/7
Windows Server 2012/2008/2003
Linux, Vmware
など様々なOSが動作するハードウェアが
提供できます。

実績・事例紹介

さまざまな業種のお客様のさまざまな業務システムで採用いただいています。
OSやアプリケーションのバージョンや種類を問わず対応できるので多くのお客様からご相談をいただいています。

業種	業務システム	移行方式	OS	ハードメーカー
電子部品製造	ERPパッケージ（SAP R/3）	P2P	2003R2	HP ProLiant
印刷	ERPパッケージ（オービック OBIC7）、MetaFrame	P2P	2008R2	富士通PRIMERGY
素材メーカー	基幹業務システム（販売・生産・購買・在庫・会計）	P2P	2012/Hyper-V	富士通PRIMERGY
自動車部品製造	生産管理システム（Oracle）	P2P	2012R2	HP ProLiant DL
通信	オリジナル開発 基幹業務、Oracle、SQLServer、Citrix	V2V	VMware ESXi	HP ProLiant ブレード
出版	NECオフコン A-VX 基幹業務システム	P2P	2008（A-VX）	NEC Express5800
大手病院	電子カルテシステム（富士通HOPE）	P2P	2003	富士通PRIMERGY
医療品製造	自動倉庫制御システム（岡村製作所）	P2P	2003、XP	NEC Express5800
ラベルシール製造	工場内監視制御システム（SCADA）Wonderware InTouch	P2P	2003	東芝 FA3100
医薬品製造	横河電機（YOKOGAWA）生産制御システム 操作監視機能(HIS)	P2P	2000	日立製作所 HF

※P2Pは物理環境から物理環境（Physical to Physical）、V2Vは仮想環境から仮想環境（Virtual to Virtual）への移行方式

事例の詳細内容は[こちら](#)からご覧になれます

詳細・お問い合わせはWebページへ

もっと詳しく知りたい

ファナティック
ハード入替サービス

サービスページへ

関係者に案内したい

サービス紹介資料の
ダウンロードはこちら

ダウンロードページへ

直接聞いてみたい

ご相談・お問い合わせは
お気軽にどうぞ

お問い合わせフォームへ

お電話・メールでのお問い合わせ先

TEL : 03-5212-1466

Mail : contact_us@fanatic.co.jp

株式会社ファナティック
プラットフォーム事業本部 営業部
担当:妹尾(せのお)